

Chartered April 11, 1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

Address : Yoshio Iida 1-2-2 Moriminami-cho Higashinada-ku, Kobe 658-0011, JAPAN
 Mail : hfyoshio1945@hotmail.co.jp Phone : 078-452-3973
 URL : http://www.kobeymca.or.jp/ys/ashiya/



主 題
 国際協会会長 「一つとなる力」
 Kevin Cummings "The Power of One"
 アジア地域会長 「夢見るアジア、愛するアジア」
 Chon Byung-Koo "Dreaming Asia, Loving Asia"
 西日本区理事 「すべてのいのちを大切に！」
 鈴木 誠也 "Love & Care for All the Living Things"
 —いのち・平和・環境—
 —Life, Peace, Environment—
 六甲部部长 「希望の灯(ともしび)となろう」
 大田 厚三郎 "Be the Light of Hope"
 芦屋クラブ会長 「愚直に歩もう」
 飯田 義雄 "Let's Advance Day by Day"

会 長 飯田義雄
 直前会長 柏原佳子
 副 会 長 井上雅司 島田 恒
 書 記 堀江哲次 都筑省三
 会 計 羽太英樹 堤 清
 監 事 都筑省三 田舎庸男
 連絡主事 橋本 潤
 六甲部EMC事業主査 福原吉孝

5
 May 2010
 第156号

LT(Leader Training)

飯田義雄



LT強調月間の機会に今一度ワイズ用語
 抜粋を開きました。

「全てのリーダーはその役に就く前に十分な
 研修を受け、任務の遂行に備えなければならない。狭い意味のリーダートレーニングは部
 評議会、区役員会の折に行われる次期役
 員研修を指すが、日常ワイズ活動そのもの

が広い意味では常にリーダーシップのトレーニングであると記されて
 います。

話は少し飛躍しますが、YMCAのボランティアの定義は自発
 性、無償性、利他性、相互性、継続性、喜んで自らの時間
 や労力、知識や能力、金銭などを提供する者を言うことと記され
 ています。リーダーの定義は私には出来ませんが、マタイ福音
 書にヒントがあるのではと思います。1箇所は25章14～30節
 の「タラントの譬え」で人生の意味は神より与えられた自己の分
 を神のために働かせるところにある。タラントは用いるために与え
 られたので、用いないタラントは失われることになる。又もう一箇
 所は20章26節の「あなたがたの中で偉くなりたいものは皆に
 仕える者になり、一番上になりたい者は皆の僕になりなさい」で
 す。私は新年度、地域奉仕・環境主査を務めさせていただく
 予定ですが、多くの人々との例会での交わり、愛と奉仕の実
 践を目指し、尊敬と愛情を持って努力いたします。

今月の聖句

すると、一同は聖霊に満たされ、“霊”が語らせるままに、
 ほかの国々の言葉で話した。

使徒言行録 2:4

5月第1例会プログラム

- と き：2010年5月19日(水) 19:00～21:00
 と ころ：ホテル竹園芦屋 3階
 司 会：都筑省三 (敬称略)
 受 付：加輪上敏彦・堤 清
1. 開会点鐘 飯田義雄会長
 2. クラブソング斉唱 一同
 3. 聖書朗読 羽太英樹
 4. ゲスト・ビジター紹介 飯田義雄会長
 5. 食前感謝 島田 恒
 6. 食事・歓談 一同
 7. タイワークキャンプ報告 五嶋侑子
(YMCAリーダー)
 8. ニコニコ(いい事一言) ドライバー
 9. YMCAニュース 橋本潤連絡主事
 10. 誕生祝い 飯田義雄会長
渡辺倫子・加輪上史子・大澤昌子
 12. 議事・報告
 - 1) 第2例会議事録承認 飯田義雄会長
 - 2) 各事業委員報告
 13. ニコニコ献金報告 福原吉孝(ファンド)
 14. 閉会点鐘 飯田義雄会長

4月例会出席表 (敬称略)

第1例会出席者		例会出席率		BF切手 (累計)
メンバー	14名	出席者	14名	148g (1,060gm)
ビジター	3名	メイキャップ	3名	上野・吉岡
ゲスト	名	合 計	17名	
メネット	名	在籍者	18名	ニコニコ (累計)
合 計	17名	出席率	94.4%	6,810円 (144,830円)

4月第1例会報告

日時：2010年4月21日(水)

場所：ホテル竹園芦屋 3階

司会：島田 恒 (敬称略)

出席者：飯田、井上、上野、柏原、桑野、島田、都筑、堤、橋本、羽太、福原、堀江、吉岡、渡辺

ビジター：山崎住夫(神戸ポートクラブ会長)、斎藤勲(神戸ポートクラブ)、小野 勲(西宮クラブ)

4月はイースター(今年は4月4日)、「今月の聖句」は羽太メンからイースターに相応しい聖句をとりあげて朗読と解説がありました。(ルカ福音書 24:31-32)

昨年春から世界的に猛威を振るい昨冬からの流行が心配されていた新型インフルエンザは、予防ワクチン接種のせいかどうか沈静化したものの、反面このところの不順な天候によって体調をくずして医療機関を訪れる人が増えているようです。



今月はその医療機関から処方される薬剤の中で「ジェネリック医薬品(後発医薬品)」について福原メンから説明がありました。「ジェネリック医薬品何でもQ&A」のレジメを

用意し、その定義、価格の安さの理由、品質の問題、安全性...について分かり易く発表されました。少子・高齢化が急速に進むわが国は国民皆保険制度の下で医療費は高騰を続けその抑制策として行政がジェネリック医薬品の普及を図っているとのこと。ジェネリック医薬品は先発の医薬品の特許期間(20年~25年)が過ぎた後に発売されるいわゆるコピー製品で薬価(国の定める薬の公定価格)が先発医薬品に比較して極めて安く設定されていて、我々患者の立場として薬剤費の自己負担が軽減されるメリットがあるとのこと。出席の皆さんからは身近な問題として大きな関心から活発な質問がありました。(ジェネリック医薬品のわが国の現状は医療用医薬品総市場の中で約17%、欧米の40%~70%と比較してまだ認知度は低い状況です。)

本日のビジター、神戸ポート山崎会長から4月18日に開催された「平和を創り出すコンサー」報告、小野西日本区事務局から西日本区並びに横浜国際大会の申込状況についての報告がありました。

交流委員の吉岡メンより現在進行中のIBCについて当初予定の横浜国際大会での締



結は先方の事情で難しく、本件について当月第2例会で審議することとなりました。島田メンの司会で進められた4月第1例会は芦屋クラブの憲法である定刻主義が守られました。

井上雅司

IBC 調印式実現か？！

芦屋クラブとしては初のIBCがオーストラリアのエチューカYサービスクラブと愈々正式調印の運びとなりそうです。

衝に当たる私の苛立ちが皆さんにも伝染してよく冗談交じりに「何ちゅうか？ エチューカ！」などと言い合ったりして参りました。参加登録が未だ為されてませんので確定ではありませんが、現書記のG. スコットさんから最低限一人でも参加するつもり、とメールを頂き安堵したところです。

2008年8月デンマークでの国際大会で、訪れて楽しい観光資源豊富なイタリア、フランス又はマルタとIBCが出来れば良いが、等と実に不埒な動機でお相手探しを試みたところ、その何処も大会に参加していなかったのです！今から思えば奇跡としか云いようのない30分のコーヒータイムの出会いで当時エチューカからオーストラリア南部の部長をしておられたノエル&アン。



デンマーク国際大会でスコット夫妻と

スコット夫妻と話が合っ
て南太平洋エリアのコリン
ランビー会長の仲介でエ
チューカと私達のIBCが
決まったのです。

IBCの申請書は早々とエ
チューカ側が先に承認をと
り、私達が慌てて後を追

いかける展開となったのには正直なところ戸惑う程でした。しかし、その後のメール交信の段になって私達は困り果て何度も当時の国際IBC主任のウイッチャンさんに泣きを入れ、その都度窘められ、宥められ、そして慰められて漸く今日の日を迎えられたのです。なんでもエチューカのメンバーはアナログの方が多いのかパソコンのメール交信は最近になって一部の方が始められたとかです。

何はともあれ、8月の横浜国際大会の壇上でIBC調印式が済めば本格的交流の段階となります。今後韓国の抜けたアジアエリアと南太平洋エリアが統合されることも大いにあり得ますし、そうならなくても、矢張りヨーロッパより遥かに近く時差も少ないので末長くお付き合いを致したいと考えています。



オーストラリア最長のマレー川。その昔母港として栄えた街エチューカを流れるマレー川を、19世紀後半、羊毛運搬手段として活躍した本物のパドルスティーマーがクルーズ船として観光に一役買っています

先ず

1) 両者の実際の行き来を伴う交流がとても楽しみです。お互い訪ねる価値ある観光地、文化遺産、自然遺産などが豊富です。

2) 次にプリテン交換。主な活動内容の要点を英語で紹介するコラムを作る事を検討しては如何でしょう？

3) 交流の都度お互いが国内使用済み切手を持ち寄って交換する。

等と云った交流を焦らず、ゆっくり進めれば如何かと考えています。

交流委員 吉岡浩一

楽しいボランティア・チャリティゴルフ

第22回神戸YMCAチャリティーゴルフ大会は「青少年指導者養成基金」のためのチャリティーです。朝からの大雨にまさかとは思いますが55名の方々のご参加と、又当日キャンセルされた12名の方々からも、チャリティー協力金が集まりさすがです。また、大会での募金とは別に「神戸YMCA子ども奨学金」への募金を、38,920円が集まめられ収益金から諸経費を除いた約260,000円は、「神戸YMCA青少年指導者養成基金」への支援金として積み立てをされたとの報告を載いております。(当日参加できなかった方からもチャリティー協力金や物品をいただきました。)

さて、芦屋クラブから飯田会長、上野ワイズ、柏原の3人にさんだクラブの杉村ワイズの編成で5番目のスタート、まだゴルフ歴、正真証明7カ月の私も、なんとかロッカー室からスタート地点へと出発までの練習などにも慣れまして、もちろんこの大雨にもしっかりと帽子、レインスーツに身を固め用意万端！朝5時起きの準備も心ウキウキ！主人がヨットクルーズに早朝嬉しそうに出かけていった気持ちがよくわかります。スコアなどまだ、気にしてられない身には全て勉強ですが、ベテランの皆様には大雨に加え、いくら頑張ってもやはり飛距離の差とたく回数多々有りのメンバーが加わるとなさら調子が狂われたこととお気の毒ではあります。私はコーチから「貴女はフォームが綺麗だねと言われ、又次回も一緒にグループでしたいね」と言っていただけで合格と送りだされたことは守れました。後グループの皆様から楽しそうに見えたと言って頂けたのも嬉しい報告でしょう。ゴルフクラブも新たに気持ちも新たにストレス解消に恰好のゴルフにますますひかれていく私は今回ブービー賞をいただき商品の大きな箱の中は高騰の新鮮な生野菜たち！多くの方のご褒美を楽しませていただきました。

追伸

第23回チャリティーゴルフ大会は、2010年10月に予定しております。次回はブービーの柏原もお世話係だそうです。是非、芦屋クラブから大勢のご参加をお願いいたします。柏原佳子

平和を創り出すコンサート

4月18日(日)18:00~20:00 うはらホール(東灘区民ホール)にて高石ともや&須磨ウエストバンドによる掲題のコンサートが開催されました。芦屋クラブからは飯田会長ご夫妻、上野、柏原、桑野、福原、堀江メンと渡辺ウイメンご夫妻が参加しました。コンサートの主催は神戸ポートクラブでしたが、西日本区六甲部と神戸YMCAの後援であり、西日本区事務局長と区書記である柏原、上野メンは受付・会場接待などで大変忙しいようでした。

神戸ポートの大野勉メンが、須磨ウエストバンドを率いる中心ボーカルであり、また折りづるラン中(震災記念日の1月



17日三宮スタート、神戸から広島/300kmへそして横浜/500kmへ)でもあり、観客からの熱烈な歓迎を受けました。西日本区広島大会、横浜国際大会とも平和をテーマにしており、震災支援の感謝と平和への願いの思いのランをし、たすきをつなぎたいというものです。高石ともやさんはマラソン愛好家として知られており、京都では大野勉メンと併走したそうです。須磨ウエストバンドからは「あの日あの時ありがとう」、「神戸今もあなたともに」など阪神大震災をテーマとしたオリジナル・ソングが歌われました。高石ともやさんがビートルズの名曲:「イマジン」を日本語の歌詞で歌ったのには驚かされるとともに、それはこころに直接に響くものでした。また、高石ともやさんの人気曲の「陽気にゆこう」が須磨ウエストバンド・高石ともや共演で歌われました。この曲は、高石ともやさんの妻がガンと診断されたとき、「ピンチのときこそ陽気にゆこう」と妻から逆に励まされ、キャッチ・フレーズとなったそうです。(原曲はアメリカ民謡: Keep On The Sunny Side)「陽気にゆこう どんな時でも 陽気にゆこう 苦しいことはわかっているのさ さあ、陽気にゆこう」と繰り返し歌っています。大野勉メンと高石ともやさんにこのコンサートで楽しい時間を頂いたことに大きな拍手と感謝を送ります。

堀江哲次

イスラエル旅行記

加輪上敏彦

はじめに、イスラエルは、四国より少し大きい国で、高い山がなく、全国何処にでも簡単に移動できるのが、便利です。北には、海拔下、222Mのガリラヤ湖周辺の緑滴るところもあれば、海拔下、420Mの死海、南には、月世界を思わせる、ネゲブ砂漠、中心には、海拔800Mのエルサレムがあり、変化に富んだ国です。また、国内に、ガザ、ベツレヘム、などのパレスチナ自治区が、別の国のように存在しています。

1) 歴史と神話と伝承の国

A) エルサレム

ウイアドローサ イエスが十字架を背負って歩かれた道(14留あり)終点は聖墳墓教会(内部はローマカトリック、アルメニア、コプトなど各宗派が別に管理している)嘆きの壁 神殿を囲む西の壁、ユダヤ教徒が熱心に、祈っている。(男女別)

岩のドーム イスラム教の創始者ムハメッドが昇天したという。オリーブ山、ゲッセマネの園、鶏鳴教会、最後の晩餐、ペンテコステの場所等、多数

B) ガリラヤ湖周辺

自然があり、湖の水位は数米下がったそうですが、イエスが活動された、2000年前を彷彿とさせられたところが多く、特に夕拝をしたアルベル山はガリラヤ湖を見下す自然公園で、誰もおらず昔を思うことひとしおでした。

もちろん処々方々に教会はあり、山上の垂訓教会、パンの奇跡教会などあり。

聖ペテロの魚を食べました。白身の魚で、日本の醤油をかけたら大変美味いでした。

C) 死海周辺、ペエルシェバ、クムランなど、語りつくせません。

2) 現在に生きる国家

人口740万人、ユダヤ教徒76%、イスラム教徒16%、キリスト教徒2%

18歳から兵役、男子3年、女子2年、但しユダヤ教徒だけ。

農業にはタイ人、家事労働にはフィリピン女性を雇用している。しかし、アラブ人を積極的に雇用しようとはしていない。平和共存には、さらに、2-3世代(50年—100年)かかるのではないかと、思われます。



4月第2例会議事録(抄)

日 時: 2010年4月28日(水)19:00~21:00
 場 所: 市民センター 206会議室 (一部敬称略)
 出席者: 飯田、井上、上野、柏原、桑野、橋本、羽太、
 福原、吉岡、堀江 (10名)

報告・協議・確認事項

- ◇芦屋さくら祭り—良かった点・反省点
 - ・テントの場所が悪かった。(橋の上で桜が全然見えない)
 - ・チヂミに関して、次回改良すべき点の指摘
 - ・昨年に続きYMCAからリーダーの参加を得て良かった
 - ・熊本みなみクラブからのにんじん購入は DBC などのつながりの意味からも来年も継続したい
- ◇横浜国際大会
 - 参加者は飯田、上野、柏原、桑野、堤、吉岡、渡辺メン(7名) クラブからの参加者支援金は¥10,000とする
- ◇IBCについて
 - エチューカクラブからのメールでは来るならウエルカムとのこと。吉岡IBC事業委員より再度メールなどで横浜大会の参加の有無など様子を確認し、これによりIBCの最終判断についても検討する。
- ◇3月度会計報告
 - 羽太メンより資料に基づき行われ、承認
- ◇ファンド
 - 柏原直前会長より新ファンドアイテムとしてシャンパーの紹介あり、例会で提示する
 - 馬路村ゆずファンドはポンズをベースとして、適宜、季節商品(ごっくん馬路村)などを仕入れ、年間販売を継続する
- ◇神戸YMCA創立125周年記念へのクラブからの協賛金
 - 10万円(六甲部内の各クラブで一律額)は2010年7月および2011年7月の2回にわけ、各5万円を支払う
- ◇橋本連絡主事が依頼を受けた西宮YMCAサッカークラブの会場予約(芦屋川西グラウンド)への登録カードへの協力については、西宮YMCAサッカー担当者から芦屋第2例会にて説明をいただく
- ◇クラブ会則(YMCA維持会員関連)が守られていないメンバーに対しては、会長名で文書により連絡または説明する。
 由田メンに関し必要な手続きを6月までに行う

書記 堀江哲次

理事通信 (抜粋)

09-10西日本区理事 鈴木誠也(前略)「すべてのいのちを大切に」広島西日本区大会での「平和の祈り」と横浜国際大会での「環境の願い」が、いよいよ今期の集大成となります。今期も後2カ月となりましたが、理事テーマ「すべてのいのちを大切に-いのち・平和・環境-」が、核兵器廃絶から世界の平和を作り出す一助になれば幸いです。部長報告、事業主任報告と表彰が最後の花を飾ります。メンバー2000名を目指すEMCは一進一退を続けています。増やす努力以上に減らさない努力をお願いいたします。さて、広島西日本区大会と横浜国際大会への登録はお済み



でしょうか?どうか少しでも早い登録を、すべての会員へお勧め下さるようお願いいたします。当然参加されるであろうと思われる方やクラブからの登録の無いところが、まだあるようです。

5月は、6月の第4回役員会、年次代議員会、西日本区大会の準備期間と共に、次期への継続引き継ぎ期間でもあります。クラブ会長はじめ、部長、主査、主任他、役員の方々は正確な引き継ぎをお願いします。「すべてのいのちを大切に」弱い立場にある人々を覚えて「祈り、励ます」国際協力募金やEF・JWFファンドにも目を向けて頂くようお願いいたします。

YMCAニュース

橋本連絡主事

- ◇イースター、晴天の下、開催！
 - イースターの早天礼拝が、4月4日(日)三宮の東遊園地で開催、130名を越す多くの人々が豊かな時をもつことができました。日本キリスト教団神戸北教会の藤原寛人牧師が「死の先に何を見る」と題して説教をされました。
- ◇マザー・テレサ生誕100年記念写真展、閉幕
 - 3月25日(木)から4月8日(木)まで、標記の写真展が開催され、多くの感動を残して8日閉幕しました。期間中、5000人弱の来場者があり、それぞれに感動したことを来場ノートに記載しておられました。尚、7月10日(土)に片柳神父をお招きして午餐会を開催する予定ですので、聞き漏らした方は是非、ご予約ください、ご参加ください。
- ◇第22回チャリティゴルフ、雨中に開催
 - 青少年指導者基金に多くの募金を捧げてくださいました。3ページのレポートをご覧ください。

今後の予定

- ◇2010年度定期総会
 - どなたでもご参加ください。
 - 日 時: 5月28日(金)午後6:30~8:30
 - 場 所: 神戸YMCAチャペル
- ◇神戸YMCAとせ幼稚園バザー
 - 日 時: 5月29日(土)午前11:00~午後3:00
 - 場 所: ちとせ幼稚園
- ◇宝塚YMCAミニバザー
 - 日 時: 5月29日(土)午前11:00~午後2:00
 - 場 所: 宝塚・阪急逆瀬川駅アピア3

ユースプラザKOBE・EASTのプログラムのご案内

- ◇第15回フリーマーケット
 - 日 時: 5月15日(土)11:00~16:00
- ◇第24回 ミニコンサート吹奏楽によるコンサート
 - 日 時: 5月22日(土)15:00~15:30
 - 出 演: 神戸市立本庄中学校吹奏楽部
 - 入場無料 (全国大会出場団体)

編集後記: ◇長く桜を楽しんだ後の風薫る若葉の季節、日によっては夏日・真夏日の汗ばむ陽気です。◇広島西日本区大会も目前となり、理事や事務局や折りずるランナーもいよいよ追い込みに入った様です。◇横浜国際大会でのIBC締結は一進一退? 吉岡メンと芦屋クラブの熱意が先方に伝わりますように! 桑野友子